

共創・協働で取り組みを進めるにあたっての考え方

お互いを理解し、取り組みを一緒に行うためには、日頃からの情報交換・課題共有・意見交換のほかに、以下のような考え方が大切です。

| | |
|--------------------|--|
| 対等な関係で 尊重し合って | 共創・協働事業に関わる団体や組織、行政は、上下の関係ではなく対等な関係性を持ちましょう。また、それぞれの自主性を尊重し合うことが共創・協働の最初のステップになります。 |
| 違いを認め合って | 共創・協働事業に関わる団体や組織が、それぞれの特性や違い、立場を理解し合い、尊重し合いましょ。 |
| 常に同じ目的・ 目標に向かって | 何のために協働するのかという「目的」と、いつまでにどれだけの成果をあげるのかという「目標」を合意の上で設定し、お互いに共有しましょう。 |
| 過程も大事に | 企画、実施、評価の各段階において、一緒に協議する機会を定期的に設け、知恵やアイデアを出し合い、プロセスを共有しながら事業を進めましょ。 |
| お互いの役割や 責任を明確に | 共創・協働は、お互いの良さを発揮し合う場です。お互いの得意分野や特性を活かして役割分担を行い、その内容を明確にしておきましょう。 |
| 見える化を 意識した取組を | 共創・協働事業への参画機会を広く確保できるように、共創・協働相手との関係が、第三者からきちんと見えるようにしましょ。また、事業を行う過程においても、公正で透明性を確保しましょ。 |
| 終わりを意識 した進め方で | 共創・協働事業を始める際には、あらかじめ実施期間を定めましょ。また、定期的な振り返りを行い、時限を意識しながら、事業を見直し改善しましょ。 |
| 自立を大事に | より良い共創・協働事業を進めていくためには、お互いに自立した立場で対話をしましょ。そのため、関わる団体や組織の自立を求め促しましょ。 |

共創・協働をもっと詳しく知りたい場合は…

共創・協働のまちづくりで相談のある方や興味のある方は、下記の問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

また、共創・協働のまちづくりを進めるにあたって、このパンフレットの基本となる「松江市 共創・協働ガイドブック」(市職員用)を作っておりますので、是非ご利用ください。
※松江市 共創・協働ガイドブックは、こちらからダウンロードできます。

URL : www1.city.matsue.shimane.jp/shiminsoudan/npo/kyousouguidbook.html

松江市共創・協働パンフレット

発行／松江市共創のまちづくり推進本部

問い合わせ先／〒690-8540 松江市末次町 86 番地

松江市市民部市民生活相談課 電話番号 0852-55-5168

松江市政策部政策企画課内 地方創生総合窓口

電話番号 0852-55-5601

松江市共創・協働のまちづくりパンフレット

みんなで取り組む共創・協働のまちづくり

地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいる方、関心のある方のためのパンフレットです。共創・協働の手法でまちづくりに取り組みましょ。

共創・協働とは

市民、NPO、公民館・自治会をはじめとする地域団体、企業、行政等多様な主体が対等な立場で尊重し合い、企画立案・実施・評価・改善の全ての過程を常に共有し、専門知識や得意分野を生かして役割分担を行い、地域課題の解決やまちづくりに取り組むことです。

なぜ共創・協働が必要なのか

社会の変化

- 市民ニーズの多様化
- 人口の減少
- 少子高齢化の進行
- 地域の担い手の減少
- 税収の減少
- 地方分権の推進
- 社会保障費の更なる増加
- 地域のつながりの希薄化

公共サービスや多様化する市民ニーズへの対応を、行政だけで行うことには限界があります。公共サービス等の質を低下させることなく提供するためには、共創・協働の手法により、行政と市民・NPO・地域団体・事業者等が、ともに担う体制づくりが必要です。

共創・協働のメリットや効果

1 市民サービスの向上

- 地域の実態や課題、ニーズに合った市民サービスを提供できます
- 市民へ提供するサービスの向上に繋がります

2 地域づくりの促進

- 地域づくりに参画する市民が増えることが期待できます
- 自ら地域について考え、実践する市民が増えます
- 住民自治が促進され、魅力のある地域づくりが実現できます

3 新たな視点と実現可能性の向上

- 市民の新しい発想から新しい事業に発展することが期待できます
- 市民活動団体の専門性を活かすことで、より良い成果が期待できます
- 行政だけでは実現できなかった事業の実現の可能性が向上します

取り組みを共創・協働で進めるためのステップ

①共創・協働のパートナーを『探す』

地域課題の解決やまちづくりを共創・協働で実施するためには、自分たちで「できないこと」や「苦手なこと」などの弱点を挙げ、それを得意とする共創・協働のパートナーを探しましょう。

パートナーが見つからない
探し方が分からない

困ったときは

市役所の窓口へ相談しましょう

例えば・・・
誰かと協力して
宍道湖の水辺を
子どもたちの
遊び場にしたい

①水辺の整備を
協力してくれる
パートナー探し
公民館・PTA・
地域団体・企業
行政などが結集

②パートナーとの活動の『相談』

最終ページの「共創・協働で取り組みを進めるにあたっての考え方」を確認し、どんな手法で実現するかを相談しましょう。

パートナーに求める役割や、費用対効果等を検討し、事業過程における波及効果や相乗効果が高い手法を相談しましょう。

②水辺をどのように
整備するか相談

③活動の『実施』

パートナーと一緒に活動しましょう。

定期的に 打合せの場を設け、最新の情報を共有することが必要です。長期的な取り組みの場合は目的をお互いに確認し合い、当初の目的とかい離しないように努めます。

③水辺を清掃して
遊び場を整備

④活動の『振り返り』

パートナーと一緒に活動を振り返りましょう。

そして確認と見直しにより改善を加え、より良い事業を実施しましょう。

④もっと良くしたい

共創・協働の取り組み事例

これから共創・協働の取り組みを進める参考に事例を紹介します。

地域づくりの取り組み事例

「瑞風」を活かしたまちづくり事業

- 実施主体 「瑞風」とまちづくりの会
- 共創・協働団体等 宍道町部自治会、宍道2区あゆみの会、県立宍道高校、宍道小学校、うぐいすの会、町部成人クラブ寿会、宍道公民館、松江市宍道支所 他

①共創・協働で取り組むきっかけ

トワイライトエクスプレス「瑞風」が宍道駅に停車することをきっかけに、宍道町の活性化につなげられないかという機運が高まり、この取り組みにつながりました。

②だれとどのような方法で

「瑞風」とまちづくりの会と松江市宍道支所、宍道公民館が協議し、関係団体と連携して歓迎の準備を進めました。

③どんな活動を行ったか

住民参加のキックオフイベントや横断幕の作成など、歓迎の準備体制を整備して、平成29年6月の初停車以降、各種歓迎イベントを実施しています。

④効果と今後の継続・発展

「瑞風」をきっかけに宍道駅周辺の賑わいやまちづくりの活性化、地域の魅力づくりにつながりはじめています。今後は、継続した歓迎と賑わいづくり、地域経済の活性化の呼び起こしが課題です。



町部成人クラブ寿会の歓迎



「シャッターを押します」の宍道高校ボランティア

地域と企業の取り組み事例

大芦発信！「元気な拠点づくり」事業

- 実施主体 大芦地区社会福祉協議会
- 共創・協働団体等 モルツウェル株式会社、大芦地区自治会、松江市島根支所

①共創・協働で取り組むきっかけ

大芦地区は、高齢化・人口減少対策として生活支援の体制作りが必要となっていました。共創・協働マーケットを契機に、モルツウェル株式会社と地内の民宿が連携した配食を開始しました。その他の地域課題も一緒に取り組みたいと希望があり、この取り組みにつながりました。

②だれとどのような方法で

大芦地区社会福祉協議会、モルツウェル株式会社、大芦地区自治会、松江市島根支所が連携して、高齢者等の生活支援サービスを提供する体制づくりを協議しました。

③どんな活動を行ったか

地区内民宿で製造した弁当の配食サービスやモルツウェル株式会社のコールセンターと地域団体が連携し、草刈等の簡易な生活支援サービスを実施しています。

④効果と今後の継続・発展

民間企業との共創により、高齢者の生活支援サービス提供の仕組みができ、安心して生活できる基盤整備につながりました。今後は、島根町全域へのサービス提供を展開していくことが課題です。

